



# 町内公民館長会 新年会

2月10日、中央地区町内公民館長会の新年会が開催されました。

16の町会から選出された町内公民館長の皆さんが令和2年の幕開けを祝い、話に花を咲かせました。

町内公民館長会では、地区の皆さんの親睦を深めるため、年間を通じ様々な活動を行っています。

- 早朝歩こう会  
4月～10月 第2日曜日  
11月 第1日曜日

朝6時に市立博物館に集合し、ラジオ体操と街中ウォーキングを行います。新しく出来たお店や地区内の文化財など、気になる所を気ままに巡ります。

● バス視察研修  
年に1回、大手公民館の協力のもと、バスで市外の施設を見学に行きます。去年は御嶽山の

ロープウェイに乗り、山麓を歩きました。これも地区住民の親睦を深める大切な行事です。

町内公民館長会では、大手公民館と連携して地区をもっと盛り上げ、活気ある生活を促していきたいと思えます。町内公民館の利用を通じて、人とのつながりを作り、生涯を楽しく生きましよう。



新年会の様子

# 新春落語会

1月16日、大手公民館で新春落語会が開かれました。

いたのは三笑亭夢太郎さん。落語会が始まる前から、落語を楽しみに集まった皆さんの明るい笑顔であふれていました。

自己紹介や身近な出来事から、和やかに始まった落語会。この日、はじめに披露されたのは「落語」と聞いてすぐに思い浮かぶほど有名な断の一つ、『時そば』です。この断には、蕎麦を売り歩いている店の主人に対し、調子よく話して会計をごまかしてしまつた一人の客と、それを陰から見ている自分でも試してみようとする別の男が登場します。

シンプルな物語ながら、くるくると変わる声色や、細かい身振り、手ふりで演じ分けられる蕎麦屋の主人と二人の客の様子に笑いを誘われます。器を手に取って香りを楽しみ、箸を割って蕎麦をすするといふ、落語の醍醐味ともいえる一連の仕草が本当に見事で、会場で聴いていた皆さんを沸かせていました。

長野県出身の力士、御嶽海の話で盛り上がった後に続いて披露された断では、江戸時代の相撲取りが活躍します。親孝行ながら母親が病にかかってしまったことよって苦しい立場にいる佐野山と、人格者として知られていた時の大横綱、谷山の人情が感じられる物語でした。最初の明るい笑いでいっばい変わった『時そば』とは打って変わり、じんわりとあたたかい笑みのこぼれる、穏やかな雰囲気にも包まれました。

断家さんの身一つ、言葉一つで鮮やかに世界を描き出し、聴いている私たちにもその風景が伝わってくる落語は本当に面白く、その気持ちを周りの皆さんと一緒に笑ったり感動したりして共



落語会の様子

## ☆館報記事募集のお知らせ☆

館報編集委員会では、館報「まちなか」に掲載する記事を募集しています。家の自慢や町会での出来事など、取材に伺います。お気軽にお気軽に

大手公民館 ☎39-5711

までご連絡ください。

## ☆講座参加者追加募集のお知らせ☆

大手公民館の講座の受講者を追加募集しています。誰でも何歳からでも気軽に取り組みます。ぜひご参加ください!! ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、日程が変更になる場合があります。

### ①いきいき元気大学

内容:リズム運動、脳トレ、ストレッチなどで楽しく身体を動かします。

講師:百瀬みどり先生(健康運動指導士)

実施日:4月6日(月)、4月20日(月)

★時間はいずれも午前10:00～11:30

持ち物:汗拭きタオル、バスタオル、飲料水

### ②健康アップ歌唱講座

内容:声の出し方、表現方法を学び、健康アップを目指しています。毎回3～4曲を歌います。

講師:木次由美子先生(生涯学習音楽指導員)

実施日:4月13日(月)、4月27日(月)

★時間はいずれも午後1:30～3:00

申込み・お問い合わせは下記まで。

大手公民館・39-5711

# 町会紹介 今町一丁目

わが今町一丁目町会は、一級河川女鳥羽川の右岸に接し、JR松本駅と国宝松本城のほぼ中間に位置し、マンション4棟、アパート数棟、一般住宅の中に商店街が点在する住宅街です。

松本城を中心とする中央地区では、戸数296戸、人口629名と、戸数・人口ともに一番の町会です。

各町会では人口減少で悩んでおられますが、幸い当町会は昨年比で戸数8戸、人口8名増加しております。これは、JR松本駅まで7〜8分と立地条件が極めて良く、マンションに若者が多いことがあげられます。

当町内には、女鳥羽川橋の袂に今町巨神社があります。毎年9月の第2土曜・日曜には、町内をあげて盛大な例祭が行われ町会が活気づきます。例祭は神社総代・親睦会員・輪番の隣組が中心となって、企画・運営に携わり、全て手作りの町民参加の例祭です。親睦会員は、町内の若手で構成され、職業・肩書きに関係なく約一ヶ月前から毎晩遅くまで、灯籠づくりや夜店の準備をします。

宵祭りには、手作りの夜店が境内いっぱい並び、町内の

子ども、大人、近在の人たちも参加して盛大に開催されます。そして宵祭りに最大の呼びものは、空くじなしの「富札」です。順次発表される番号に、会場の全員が歓声を上げ大変な盛り上がりを見せます。翌日の本祭りには、PTA主催の子ども奉納相撲が行われます。

毎年6月には「三世代交流会」があり、公民館で老人、親子どもの三世代による交流会も行っていきます。

旧町内とマンションの人々が交流を深め、団結をするためには、今町二丁目町会の伝統と文化である今町巨神社の例祭と町会の各種行事が必要と思われ、町会の先輩方に感謝し、後世に大切に引き継いでいきたいと思えます。

今町二丁目町会長 赤羽 郁夫



巨神社

## 長元坊 チョウゲンボウ

今年はおリンピックイヤーですが、歌舞伎ファンにとつては待望の市川團十郎白猿(白猿は五代目の俳号)の襲名披露です。歌舞伎で宗家と呼ばれるのは市川團十郎家のみで襲名披露でも二ラミが入ります。

写楽の浮世絵にもある黒目を中央に寄せるあの二ラミの見得です。江戸時代ではお正月に二ランでもらうと風邪をひかないといわれていました。

今から350年前、初代團十郎は本名堀越海老蔵といひ父は侠客でした。苗字があつたから武士の出でしょうが役者の身分は最低でしたから苗字が名乗れず、苗字が持てたのは明治からです。市川は堀越の出生地名といわれています。

初代は江戸歌舞伎のスターであり三升兵庫のペンネームで台本も書いていました。子宝に恵まれず成田不動尊に祈願して男の子を授かります。後に屋号は成田屋となります。

江戸三座「中村座・市村座・森田座」の座頭は別として一般の役者の身分は低かったため、跡目を継がせたのは市川家が初めてでした。

初代は舞台の上で生島半六



に殺されます。大奥の江島生島事件で有名な生島新三郎が半六の師匠でしたから二代目の後見人となり面倒を見ます。

二代目も芸を磨きスターになつて顔の隈取も完成させます。市川家も血流の危機を何度も乗り越え継続させていきました。

歌舞伎界で九代目といえは明治に活躍した團十郎の事です。劇聖と呼ばれた芸の力だけではなく、役者の地位向上や歌舞伎を高尚な演劇にしたのもこの人です。残念ながら男の子に恵まれず長女の夫福太郎が銀行をやめ團十郎となりますが、役者は無理でも團十郎家の歴史書や多くの書物を出版して市川家の事業をしっかりと継続します。

歌舞伎界は80%が親戚といわれませんが十代目は七代目松本幸四郎の長男です。若い時花の海老様と騒がれた美貌の人気役者です。

十二代目は今の海老蔵の亡くなったお父さん。そしていよいよ十三代目です。

テレビで市川家の放映がある時にちよつと思ひ出してくださると面白いと思います。(A・S)

## 民生・児童委員改選

この度、中央地区の民生・児童委員が改選されましたのでお伝えいたします。

(カッコ内は担当町会)

◎増田 博志(上土町)

長谷川和恵(大名町・六九町)

金子 秀實(緑町・小柳町)

槇石 康子(南土井尻町・北土井尻町)

山本 文彦(二ノ丸・西堀町)

◎中田 義雄(今町二丁目)

野村 長司(今町二丁目・松栄町)

荒井 忠幸(鷹匠町)

◎大倉みつえ(大柳町・丸の内)

大蔭 住子(主任児童委員)

(◎は会長、○は副会長)

民生・児童委員は地域住民の立場で、一人暮らし高齢者など援護が必要な方への訪問を行い、生活に関する困り事の相談受付や支援を行っています。困りごとを相談された民生委員は、公民館や福祉ひろば、地域づくりセンターなどの行政機関へつなぎ、必要なサービスや制度の活用へつなぐります。困ったことがあれば、民生委員や公民館へ相談をしましょう。日頃から、地域の方と顔の見える関係を築きましょう。

